

政策シート 政策名 10 動物園の再生

予算費目名 01 動物園費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 03 市民が集う活力ある都市づくり

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

市民が憩い楽しめる動物園とするとともに、いのちを学べる施設としての運営を行う。動物園の再生に向けて運営の改善を続け、動物展示の見直しや動物ガイドや動物とのふれあい等、イベントの充実により、リピーターを増やす等、入園者数の増加を目指す。老朽化した園内施設については、動物の福祉向上、特性・特徴などの魅力を引き出す展示ができる飼育施設や、来園者の快適性向上を図る休憩施設などの便益施設への再整備を進める。また、ボランティア活動やサポーター制度の拡充など、市民の動物園として市民が気軽に関わることができる運営をすすめる。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑪都市	⑮陸上資源						
-----	-------	-----	-------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	726,625	348,192	447,785			
決算	236,381	784,637				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	261,160	257,760	251,960			
年間経費(予算又は決算+A+B)	497,541	1,042,397	699,745			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
入園者数	人	目標	375,000	375,000	385,000	390,000	395,000	400,000
		実績	322,855	276,163				
イベント参加率	%	目標	30	30	30	30	30	30
		実績	33.2	28.7				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

平成28年9月に策定した浜松市動物園再生基本計画に基づき「いのちのふれあいゾーン」を整備した。動物園の再生に向けて運営の改善を続け、入園者数の増加が来園者便益施設や獣舎などの改善へとつながる好循環を生み出すことができるよう、職員が意思の共有を図った。来園者の満足度向上を図るため、教育プログラムの見直しや動物とのふれあい方法の見直しを実施した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
いのちのふれあいゾーン整備工事が完了し、教育プログラムやふれあい動物の見直しを実施した。入園者数は、新型コロナウイルス感染症対策と整備工事に係る休園のため、目標を下回った。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	動物園施設維持管理事業	—	—	○		295,252	137,452	20.8	0.9		3.2	
2	動物愛護教育センター事業	—	—	○		93,179	35,219	7.6			1.7	
3	各種イベント開催事業	—	—	—		12,789	7,469	0.6			0.4	
4	傷病野生鳥獣保護事業	—	—	—		5,799	959	0.4	0.1		0.6	
5	動物購入事業	—	—	—		12,100	10,000	0.3				
6	施設整備事業	—	○	○		224,898	209,498	1.8			1.0	
7	公園敷地借上事業	—	—	—		15,911	14,511	0.2				
8	公園用地取得事業	—	—	—		30,254	29,554	0.1				
9	動物園施設整備基金積立金	—	—	—		701	1	0.1				
10	動物園デジタル運営経費	—	—	—		2,438	1,178	0.1			0.2	
11	動物園運営経費	—	—	—		6,424	1,944	0.6			0.1	
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						699,745	447,785	32.6	1.0		7.2	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
令和3年度	分野 03	基本政策 03	政策 10	予算費目 01	所属コード 002165000	事業 01	(担当課) 動物園	(責任者) 岩淵 肇	(基準日) R3.7.1

事業シート (事業名) 01 動物園施設維持管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

入園者が安全で安心して快適に利用できるように施設の維持管理をおこない、あわせて市民への憩いの場を提供し、命の大切さ・きずなの尊さを伝え、豊かな社会性を養うことを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S58	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市公園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
事業とゴールの 関連性	汚水処理施設の管理運営により、園内で排出される水を浄化、再利用することで外部への排出を削減する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	140,388	150,858	137,452			
	決算	140,010	144,677				
	国・県支出						
	市債						
	その他	44,492	25,937	55,087			
	一般財源	95,518	118,740	82,365			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		155,120	155,600	157,800			
人工	正規	20.8	20.8	20.8			
	再任用(h31)	0.7	1.3	0.9			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.5	1.9	3.2			
年間経費(予算又は決算+A+B)		295,130	300,277	295,252			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
入園者数			目標	375,000	375,000	385,000	390,000	395,000	400,000
			実績	322,855	276,163				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	10	01	002165000	01	動物園	岩淵 肇	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- 入園者が快適に利用してもらうための業務委託 汚水処理施設維持管理業務
- 展示動物等の飼養管理
- 希少動物の飼育・繁殖及び調査研究



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・入園者数 276,163人
- ・繁殖動物 アムールトラ 3頭、ニホンザル 1頭、カリフォルニアアシカ 1頭、オシドリ 2羽
- ・飼養管理の効率化及び飼育作業環境の維持を図るため、動物用麻酔装置、洗濯機及び乾燥機等備品の更新を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による閉園、若しくは人を集めた形式のイベントや講習会開催の取りやめ。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 現状 / 事業費 現状 人工 現状

引き続き、入園者が安全で安心して快適に利用できるよう施設の維持管理、展示動物たちの飼養管理等を行う。近年、動物の展示方法が個体展示から行動展示へと変化しているが、対応するには大幅な施設改修が必要。現在の飼育動物種、飼育施設をもとに動物の魅力を伝える展示手法(解説も含めて)への改善を常に心掛ける必要がある。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 現状 / 事業費 現状 人工 現状

引き続き、入園者が安全で安心して快適に利用できるよう施設の維持管理、展示動物たちの飼養管理等を行う。新しくオープンした「いのちのふれあいゾーン」をPRしていくとともに、ふれあいイベントの開催や、教育プログラムの充実を図ることで、入園者数の増加を図る。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- 入園者が快適に利用してもらうための維持管理
- 展示動物等の飼養管理
- 希少動物の飼育・繁殖及び調査研究
- いのちの教育事業の積極的な受入…県西部地区(掛川市以西)の小学生から大学・専門学校生を対象として行なう。

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	10	01	002165000	02	動物園	岩淵 肇	R3.7.1

事業シート (事業名) 02 動物愛護教育センター事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家庭動物の飼育指導や新たな飼い主への譲渡などの事業を行なう動物愛護・教育センターの効率的な施設管理を行うとともに、動物園の第2種事業所として効果的な事業実施体制を構築する。また、家庭動物の譲渡活動及び飼主責任の啓発を中心とした愛護事業を進めると同時に、動物を切り口とした教育事業の展開を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H26	—	一般会計	自治事務(法令義務)	動物の愛護及び管理に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

④教育									
事業とゴールの関連性	家庭動物等に関する教育プログラムの実施により、ペットに対する関心を高め理解を深める。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	36,884	35,886	35,219			
	決算	34,282	33,113				
	国・県支出						
	市債						
	その他	165	115	112			
	一般財源	34,117	32,998	35,107			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		70,520	66,200	57,960			
人工	正規	9.2	8.6	7.6			
	再任用(h31)	0.3	0.5				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.8	1.5	1.7			
年間経費(予算又は決算+A+B)		104,802	99,313	93,179			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
犬の返還譲渡率(%)			目標	97	97	98	98	98	98
			実績	98.9	98.2				
猫の生存率(%)			目標	60	62	63	65	67	70
			実績	61.5	77.5				
教育活動実施回数(回/人)			目標	140/6,000	140/6,000	145/6,200	150/6,300	150/6,400	150/6,500
			実績	106/5,040	27/1,507				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	10	01	002165000	02	動物園	岩淵 肇	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ① 庁舎管理経費
電気料、設備保守委託、清掃業務委託 など
- ② 動物愛護法関係事業
迷い犬猫等の保護・運搬業務委託、電話相談業務委託、負傷動物等保護収容措置業務委託、動物ボランティア譲渡活動推進事業、野良猫との共生推進事業、収容動物飼料費 など
- ③ 教育事業の推進
教育関係者等と協力していのちの教育事業プログラムの拡充を図る。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

- (1) 事業の成果と課題**
 指標の達成度
 ・譲渡事業: 動物ボランティア譲渡活動推進事業及びセンターでの譲渡推進の結果、殺処分数が減少。課題としては、攻撃的性質の犬等により殺処分ゼロが未だ困難である。また、所有者不明子猫の引取り数を減少させていくことが生存率を上昇に繋がる。
 ・教育事業: 動物園とも協力し、件数及び受講者が増加。教育プログラム冊子の作成。教育委員会及び各学校への周知を行い増加を目指す。
 ・その他 飼い主啓発事業: しつけ方講習会(5回)、譲渡時の飼い主責任啓発指導実施、浜松市動物愛護推進員委嘱、野良猫との共生推進事業: 地域の環境悪化防止とともに所有者不明子猫の引取り数の削減に寄与した。
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)**
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、人を集めた形式のイベントや講習会開催の取りやめ。



6 事業の見直し (Action)

- (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)**
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 所有者不明子猫の引取り数が令和元年度より約40頭減少したが、親となる野良猫の減少によるものなのか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、子猫が拾得される機会が減少したことによるものなのかは、今後の状況をみて判断する必要がある。
- (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)**
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 現在、協力をいただいている動物団体ボランティア、獣医師会、動物取扱業者等の人的資源を活用し、飼い主責任の啓発、譲渡事業、教育事業に取り組む。そして、「いのちの教育事業」で作成したDVD等を使い、動物園と協力して子供達に動物愛護を育むために、動物園動物や犬猫を題材にした講座を開催する。ただし、新型コロナウイルス感染症対策をとって開催する必要がある。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ① 庁舎管理経費
電気料、設備保守委託、清掃業務委託 など
- ② 動物愛護法関係事業
収容動物の飼養管理及び動物搬送業務委託、電話相談業務委託、負傷動物等保護収容措置業務委託、動物ボランティア譲渡活動推進事業、野良猫との共生推進事業、収容動物飼料費 など
- ③ 教育事業の推進
学年別・習熟度別、動物種別のプログラムを作成したDVD等を使用し、動物園、各教育機関等と連携し、「いのちの教育事業」を実施する。

事業シート (事業名) 03 各種イベント開催事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

入園者が各種のイベントに楽しみながら参加して、動物に関する知識を深めるとともに、動物愛護や自然保護に対する意識を高めてもらう。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S58	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

④教育									
事業とゴールの 関連性	動物関連イベントの実施により、動物に対する知識・関心ならびに動物園の役割について理解を深める。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	6,090	6,617	7,469			
	決算	5,717	5,650				
	国・県支出						
	市債						
	その他	5,717	5,650	7,469			
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,760	5,460	5,320			
人工	正規	0.6	0.7	0.6			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2	0.2	0.4			
年間経費(予算又は決算+A+B)		10,477	11,110	12,789			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
イベント参加率(%)			目標	30	30	30	30	30	30
			実績	33.2	28.7				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
03 03 10 01 002165000 03 動物園 岩淵 肇 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

新型コロナウイルス感染症拡大防止により、R2年度については、イベント開催を取り止めた結果、入園者を対象とした写生大会(秋のみ開催)、写真コンクール等の実施にとどまった。
また定例イベントのほか、集客に結びつくイベントについても同様に取り止めとした。
令和2年度は、特別企画展として「どうぶつのめ」を開催したが、従来の屋内を取り止め、屋外で実施したこともあり、時期も規模も縮小となってしまった。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

秋の写生大会、写真コンクールの開催に加え、令和2年度は、特別企画展として「どうぶつのめ展」を開催した。また、3月には「いのちのふれあいゾーン」オープンにあわせて、ウオットによる「出張水族館」を実施した。各種イベント参加率(イベント参加者79,243人/総入場者数276,163人)は28.7%となった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による閉園、若しくは人を集めた形式のイベントや講習会開催の取りやめ。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

野生動物に関する知識を広めるとともに動物愛護や自然保護に対する意識を高めてもらうイベントやオリジナリティのあるイベントを継続して開催し、来園者ニーズに対応するとともに集客力を高めていく。

また、官民連携事業や産学官連携事業等を実施し、魅力ある動物園をPRし入園者数の増加を図る。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

身近な動物に関する知識を広めるとともに動物愛護や自然保護に対する意識を高めてもらうイベントやオリジナリティのあるイベントを継続して開催し、集客力を高めていく。

また、民間団体や市民の皆さんを巻き込んだ事業等を実施し、いのちのふれあいゾーンなど動物園の新しい魅力をPRし入園者数の増加を図る。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

入園者を対象とした写生大会、写真コンクール、クイズラリー、ナイトZOO、ニューイヤーフェスティバル、動物へのエサやり体験等を実施する。また、定例イベントのほか、集客に結びつくイベントを随時企画・開催する。
令和3年度は、特別企画展として「身のまわりにいるどうぶつ展」を実施する。

事業シート (事業名) 04 傷病野生鳥獣保護事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

静岡県から業務委託を受け、傷ついたり、病気を患った野生の鳥や獣を保護(収容)・治療し、自然へ復帰させることにより、自然環境や生態系を保全する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S49	-	一般会計	自治事務(その他)	鳥獣の保護及び官埋並ひに狩猟の適正化に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑮陸上資源								
事業とゴールの 関連性	負傷野生動物の保護、治療及び放鳥獣により野生動物の保護、多様性に寄与する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	959	959	959			
	決算	959	959				
	国・県支出	959	959	959			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,460	4,540	4,840			
人工	正規	0.3	0.3	0.4			
	再任用(h31)	0.5	0.6	0.1			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2	0.1	0.6			
年間経費(予算又は決算+A+B)		5,419	5,499	5,799			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
傷病鳥獣自然復帰率(%)			目標	30	30	30	30	30	30
			実績	22.6	20				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 10 予算費目 01 所属コード 002165000 事業 04 (担当課) 動物園 (責任者) 岩淵 肇 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

静岡県からの業務委託に基づき、県西部区域から持ち込まれた、傷ついたり、病気を患った鳥や獣を保護(収容)・治療し、自然復帰可能なものを放鳥獣する。
令和2年度は鳥類15羽を受け入れ、鳥類3羽を自然復帰させることができた。
また、静岡県との協議・連携により、保護対象外鳥獣の持ち込み相談が減少。市民への啓発が進んでいる。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

令和元年度傷病野生鳥獣保護状況

保護頭、羽数()内は自然復帰頭・羽数

・哺乳類 0(0) ・鳥類 15(3) …計15(3) 20.0%

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

鳥インフルエンザによる鳥類受入中止

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 現状 / 事業費 現状 人工 現状

引き続き、契約内容に基づき受託事業を行う。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 現状 / 事業費 現状 人工 現状

保護された傷病野生鳥獣の収容・治療は、受託業務として動物園が行うが、保護の可否についての判断や治療後の放鳥獣は、県が行うこととなっている。

今後も市民などからの通報に適切に対応できるよう、県と連携し、情報の共有化と業務の適正化を図るとともに、市民への鳥獣保護思想の普及・啓発に努めていく。

また、委託料の増額について、県と協議していく。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

静岡県からの業務委託に基づき、県西部区域から持ち込まれた、傷ついたり、病気を患った鳥や獣を保護(収容)・治療し、自然復帰可能なものを放鳥獣する。

事業シート (事業名) 05 動物購入事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

展示動物導入計画に沿った展示動物の購入及び他園との搬出入、動物交換などを行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S28	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市公園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
			⑮陸上資源						
事業とゴールの 関連性	飼育動物の購入又は他の園館との貸借等による交換により、希少動物の繁殖等を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	10,000	4,535	10,000			
	決算	1,669	4,499				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	1,669	4,499	10,000			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,100	2,100	2,100			
人工	正規	0.3	0.3	0.3			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		3,769	6,599	12,100			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
契約件数			目標	5	5	5	5	5	5
			実績	5	8				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 10 予算費目 01 所属コード 002165000 事業 05 (担当課) 動物園 (責任者) 岩淵 肇 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

展示動物の充実と繁殖・種の保存を図るため、新規購入、他園との交換及び貸借等を行う。ロバ雌1頭、ミニチュアホース雄1頭、モルモット雌40頭、カイウサギ2頭及びハリネズミ1頭を新規購入した。また、グラントシマウマ雌1頭を広島市安佐動物公園より、モルモット雄4頭・雌2頭を静岡市立日本平動物園より譲り受けた。さらに、当園で繁殖したフサオマキザル雄2頭とシバヤギ雌2頭を等価交換した。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

令和2年度実績

- ・購入: ロバ♀1、ミニチュアホース♂1、モルモット♀40、カイウサギ♀2、ハリネズミ♀1
- ・交換: フサオマキザル♂2とシバヤギ♀2を等価交換(川原鳥獣貿易)
- ・譲受: グラントシマウマ♀1(広島市安佐動物公園)
- ・貸付: クロキツネザル♀1(ネオパークオキナワ)、フンボルトペンギン♂1・♀1(葛西臨海水族館)

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

豚コレラや鳥インフルエンザ



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

希少動物の繁殖は、種の保存のみならず動物園の魅力の拡大につながることから、状況を的確に判断して、最小の経費で導入し効果が上がるように努める。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

動物園再生計画で策定したコレクションプランに沿って、飼育体制を整え、動物の導入を図っていく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

展示動物の充実と繁殖・種の保存を図るため、他園との動物交換、動物賃貸、新規動物購入や死亡、動物の補充などを行う。

事業シート (事業名) 06 施設整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

ユニバーサルデザインに配慮した、入園者が安全で安心して動物を観覧できるように施設の再整備を進め、併せて展示動物の生態、行動、福祉に配慮した飼育環境を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S58	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市公園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	○	(戦略項目)	168						

(4) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑮陸上資源								
事業とゴールの 関連性	獣舎及び展示場の整備、修繕など飼育動物の飼育環境を整え、動物福祉の向上を図り、来園者に動物に対する知識と理解を深めてもらう。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	511,419	112,238	209,498			
	決算	33,717	559,777				
	国・県支出		170,400	50,400			
	市債						
	その他			145,000			
	一般財源 一般会計繰入金	33,717	389,377	14,098			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		16,920	16,580	15,400			
人工	正規	2.0	1.9	1.8			
	再任用(h31)	0.5	0.6				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.4	0.4	1.0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		50,637	576,357	224,898			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
整備件数			目標	1	1	1	1	1	1
			実績	1	1				
いのちのふれあいゾーンの整備		168	目標	実施設計・整備工事	整備工事				
			実績	実施設計・整備工事	整備工事完了				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	10	01	002165000	06	動物園	岩淵 肇	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

令和2年度の主な工事としては、汚水処理・堆肥化設備改修工事、園内給排水設備更新工事、動物園ゲート改修工事、クマ舎給水管漏水等緊急修繕工事、サル山周辺倒木撤去等を行った。
 いのちのふれあいゾーン整備事業については、いのちのふれあいゾーン整備工事1期、2期、3期工事を行い、令和3年2月工事完了、3月20日供用開始となった。
 委託業務としては、園内公衆トイレ改修工事の実施設計を行った。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

主な工事

- ・汚水処理・堆肥化施設改修工事
- ・園内給排水設備更新工事
- ・動物園ゲート改修工事
- ・クマ舎給水管漏水等緊急修繕工事
- ・いのちのふれあいゾーン整備工事1期、2期、3期

委託業務

- ・園内公衆トイレ改修工事委託業務

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、老朽化による施設・設備の修繕を計画的に行う。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、老朽化による施設・設備の修繕を計画的に行う。

平成28年9月に策定した動物園再生基本計画に基づき、汚水処理施設等、基盤施設の抜本的な整備を行う。また、獣舎の整備や全天候型施設の新設等を検討していく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

浜松市動物園は、松城町(現在の浜松城公園)に昭和25年11月に県内初の動物園として開園したが、敷地が狭いことや施設の老朽化、あるいは浜松城公園の整備が進んできたことから、昭和58年4月に現在の館山寺総合公園内に移転・開園した。館山寺総合公園への移転・開園後、35年余が経過しており、施設や設備の老朽化が著しいため、施設の維持管理とともに、優先順位を決め、計画的に施設整備・改修をしていく必要がある。

そのような中、平成28年度に「いのちの教育」を柱とした浜松市動物園再生基本計画と策定した。この動物園再生基本計画に基づき、施設整備を進める。

- ・給排水設備整備工事の一部を実施
- ・園内トイレ整備工事(2カ所)

事業シート (事業名) 07 公園敷地借上事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

将来に向けて、引き続き館山寺総合公園を市民等の憩い場として提供するため。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S54	-	一般会計	自治事務(その他)	公有財産管理規則

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	16,497	15,952	14,511			
	決算	15,951	14,995				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	15,951	14,995	14,511			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	1,400			
人工	正規	0.2	0.2	0.2			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		17,351	16,395	15,911			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
公園内民有地の借り上げ契約率			目標	100	100	100	100	100	100
			実績	100	100				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 10 予算費目 01 所属コード 002165000 事業 07 (担当課) 動物園 (責任者) 岩淵 肇 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

館山寺総合公園の民有地を有料で借り上げる。
借地内訳
R3.4.1現在 (R2.4.1現在)
借地面積 84,550㎡ (89,841㎡)
所有者数 25名-26件 (27名-28件)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

館山寺総合公園用地を借り上げるにより、市民等の憩いの場として提供し、動物や花木を通して多くの人に感動を与え、いのちの大切さや自然環境保護を伝える事業が安定的に維持、継続できた。

R2買取 2件5,291㎡

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

館山寺総合公園の安定的に継続して運用するため、浜松市資産経営推進方針に基づいて、適正な価格で借地契約を行う一方で、予算を投入し借地の解消に努める。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

館山寺総合公園用地の借地地権者からの土地買取り申し出に対しては、借地解消に向けて積極的な取得を進める。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

館山寺総合公園の民有地を有料で借り上げる。
借地内訳
R3.4.1現在
借地面積 84,550㎡(104筆)
所有者数 25名-26件

事業シート (事業名) 08 公園用地取得事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

将来に向けて館山寺総合公園を市民等の憩い場として提供するため、現在の借地を買収し市有地とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S58	—	一般会計	昭和58年度	公有地の拡大の推進に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの 関連性	継続的に公園用地の取得に努め、動物園の安定的な運営と利用者の利便の向上を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	2,168	20,212	29,554			
	決算	2,126	20,210				
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,126	20,210	29,554			
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700			
人工	正規	0.1	0.1	0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		2,826	20,910	30,254			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
公園内民有地借上げ契約数			目標	28	26	25	25	25	25
			実績	28	26				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 10 予算費目 01 所属コード 002165000 事業 08 (担当課) 動物園 (責任者) 岩淵 肇 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

館山寺総合公園用地(フラワーパーク・動物園)内の借地部分の土地取得を行なった。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

借地契約件数28件中、売買契約は2件成立した。

○H25当初借地総面積244,435㎡中、借地解消面積159,885㎡ 合計執行率 65.4%

○H25当初借地料54,128,448円はR元年度借地料14,510,738円となり、39,617,710円の借地料を減額できた。減額率73.2%

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も継続して本事業を実施し借地解消を図る。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

館山寺総合公園用地(フラワーパーク・動物園)内の借地部分の土地取得を行なう。

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	10	01	002165000	09	動物園	岩淵 肇	R3.7.1

事業シート (事業名) 09 動物園施設整備基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松市動物園施設整備基金の適正な管理をおこなう。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S45	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市動物園施設整備基金に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
				⑮陸上資源					
事業とゴールの関連性	動物の購入や獣舎及び展示場の整備、修繕など飼育動物の飼育環境を整え、動物福祉の向上を図り、来園者に動物に対する知識と理解を深めてもらう。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	2	1	1			
	決算	2	1				
	国・県支出						
	市債						
	その他	2	1	1			
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700			
人工	正規	0.1	0.1	0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		702	701	701			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 10 予算費目 01 所属コード 002165000 事業 09 (担当課) 動物園 (責任者) 岩淵 肇 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

動物園の施設拡充費、改善費及び動物の購入費に充てるため、基金運用収入を積み立てる。元金に対する運用収入が確定(554円)した。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

施設整備基金 現額 15,567,760円(R3.3末現在) 上半期利子184円 下半期利子370円 計554円

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
引き続き、基金の管理を継続する。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
基金の管理を継続する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

動物園の施設拡充費、改善費及び動物の購入費に充てるため、元金と基金運用収入を積み立てる。

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	10	01	002165000	10	動物園	岩淵 肇	R3.7.1

事業シート (事業名) 10 動物園デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

動物園のデジタル関連事業に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R3		一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑨イノベーション									
事業とゴールの 関連性	デジタル化によりわかりやすい情報発信を実施し、持続的な産業化を目指す。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算 決算			1,178			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			1,178			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				1,260			
人工	正規			0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.2			
年間経費(予算又は決算+A+B)				2,438			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 10 予算費目 01 所属コード 002165000 事業 10 (担当課) 動物園 (責任者) 岩淵 肇 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

3ヶ国語対応ガイドアプリによる動物園ガイドの実施。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

ガイドアプリ(GOOZEN)により3ヶ国語(英語・中国語・日本語)による動物園の施設や動物のガイドサービスを提供。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

SNS等を活用して動物園情報を発信していくことにより、なるべく多くの方に興味を持ってもらい、来園者の増加に繋げる。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

3ヶ国語対応ガイドアプリによる動物園ガイドの実施。

スマホタブレット導入による教育プログラム、出前講座への活用。また、SNS等を活用した園内動物の情報発信。

事業シート (事業名) 11 動物園運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

安全で適正な施設管理運営を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S58	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市公園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑮陸上資源								
事業とゴールの 関連性	職員が各種研修等に参加することで資質の向上を図り、いのちの教育プログラムを充実、発展させる。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	2,218	934	1,944			
	決算	1,948	756				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	1,948	756	1,944			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,480	4,480	4,480			
人工	正規	0.6	0.6	0.6			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1	0.1			
年間経費(予算又は決算+A+B)		6,428	5,236	6,424			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 10 予算費目 01 所属コード 002165000 事業 11 (担当課) 動物園 (責任者) 岩淵 肇 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

動物園の運営に必要な諸経費、負担金などにあてる。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

R2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、各種会議等が中止またはリモート会議へと変更になった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症対策のため、研究会・研修会等中止



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

展示動物の飼育や治療方法などの技術や飼育、トレーニング要領は、常にブラッシュアップされ効率化するので、今後も情報を交換し園の適正な運営を確保する。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

展示動物の飼育や治療方法などの技術や飼育、トレーニング要領は、常にブラッシュアップされ効率化するので、今後も情報を交換し園の適正な運営を確保する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

動物園の運営に必要な諸経費、負担金などにあてる。